

第15回(2010)「植村直己冒険賞」授賞式・記念講演会

アラスカの山々に魅せられ 遥かな高みに挑み続ける

くりあきまさとし

受賞者 栗秋正寿さんが来市

2月16日に発表した2010「植村直己冒険賞」受賞者の栗秋正寿さん(38歳、福岡市在住)の授賞式を開催します。

授賞式に引き続き、栗秋さんが通算12年間にわたり過酷な冬のアラスカの山々に挑戦された思い出や、これからの挑戦に対する思いをお話しいたします。皆さん、ぜひ、誘い合わせてお越しください。

《問合せ》植村直己冒険館 ☎44-1515

◇日時 6月4日(土)午後1時30分開会
(開場：午後0時30分)

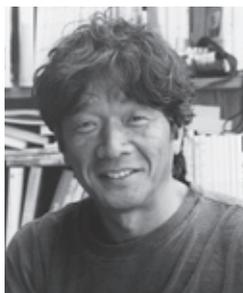
◇場所 日高文化体育館(日高町祢布)

◇内容 ・オープニング(府中小学校児童)
・植村直己冒険賞の授与
・栗秋正寿さん記念講演会
演題「アラスカ垂直と水平の旅」

◇入場料 無料

【椎名 誠さん(選考委員)が来市】

今回の授賞式には、選考委員を代表して、椎名 誠さん(作家)にお越しいただき、栗秋正寿さんが選考された経過などをお話しいたします。椎名さんは、本賞設立当初から選考をお願いしています。



(写真提供：椎名 誠事務所)

【府中小学校の取組み】

植村直己の出身校である府中小学校の児童の皆さんが、授賞式のオープニングを飾ります。同校では、年間を通じて「植村直己」を学



習テーマに取り入れ、その一環として今回は3年生が授賞式のステージに登場します。

栗秋正寿さんってどんな人?

1972年、福岡県生まれ。高校山岳部で登山を始め、1995年、大学山岳部の仲間と北米大陸最高峰マッキンリーに登頂。

「山の旅人」と自称する冬のアラスカ山脈登山の第一人者。

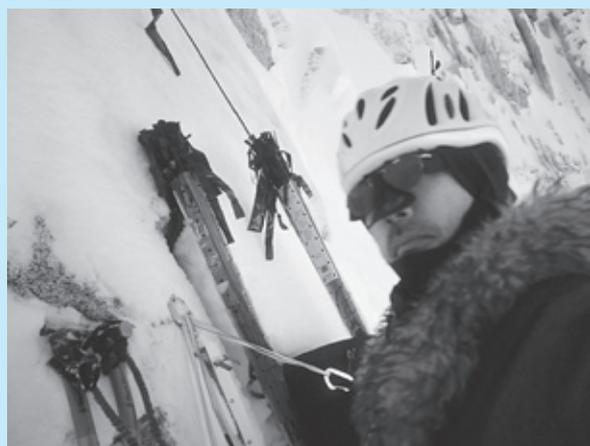


《中央アラスカ山脈三大高峰への冬季単独登頂挑戦等経歴》

- ◇1997年 マッキンリーに挑むが、5200m地点で断念
- ◇1998年 マッキンリー登頂(世界4人目、史上最年少)
- ◇1998年 リヤカーを引きアラスカ縦断1400km
- ◇1999年 フォレイカー単独登頂※冬季記録を逃す
- ◇2001年 フォレイカー単独登頂※冬季記録を逃す
- ◇2002年 フォレイカーに挑むが、2590mで断念
- ◇2003年 ハンターに挑むが、2740mで断念
- ◇2004年 ハンターに挑むが、2540mで断念
- ◇2005年 ハンターに挑むが、2300mで断念
- ◇2006年 マッキンリーに挑むが、2750mで断念
- ◇2007年 フォレイカー登頂(世界初)
- ◇2009年 ハンターに挑むが、2600mで断念
- ◇2009年～10年 ハンターに挑むが、3300mで断念

■栗秋正寿ホームページアドレス

<http://www.japanesecaribou.com/>



地震は突然やってくる！

3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0(暫定値)の世界最大級の巨大地震が三陸沖で発生しました。地震の直接的な揺れやその後の大津波により、東北地方を中心とした東日本では、多くの家屋が倒壊または流失し、多数の死者や行方不明者が出るなど未曾有の被害を受けました。この震災で犠牲となられた多くの方々のご冥福をお祈りするとともに、被害を受けた方々に対して心からお見舞いを申し上げます。

被災地の日も早い復興に向け、市としても可能な支援を続けていきます。

《問合せ》防災課防災係 ☎23-11111



忘れてはいけない北但大震災

本市では、大正14年5月23日午前11時10分ごろ、マグニチュード6.8の地震が円山川河口付近で発生し、円山川流域、特に豊岡、城崎地域に甚大な被害をもたらしました。当時の建築物は木造が大半であったため、地震の初動で建物の多くは一気に倒壊しました。地震の発生が昼時であったため、食事の準備で火をたいていた民家や旅館では、家屋倒壊に伴い、瞬間に火の手が上がりました。この火災で、豊岡地域では

まちの半分が焼失し、城崎地域では実に283人(人口比で8.0パーセント)という多くの方が亡くなりました。犠牲者の大半は、食事準備中に、倒壊した建物に挟まれたまま火災によって焼死した女性でした。

〈北但大震災の被害状況〉

地域	全焼	全壊	半壊	破損	死者	負傷者
豊岡	1,137戸	724戸	588戸	2,148戸	136人	581人
城崎	611戸	61戸	56戸	167戸	283人	211人
竹野	—	31戸	72戸	593戸	—	—
日高	—	5戸	23戸	—	—	—
出石	—	5戸	200戸余	—	1人	—
但東	—	—	—	12戸	—	—
合計	1,748戸	826戸	939戸余	2,920戸	420人	792人

(豊岡市地域防災計画から)

地震の種類は？

地震には大きく分けて地球の海側のプレートと陸側のプレートのずれによって起きる「海溝型地震」と陸側のプレート内の断層の動きによって起きる「内陸型地震」があります。内陸型地震は、私たちが生活している陸地の直下で起こるため、「直下型内陸地震」とも呼ばれます。

今回東北地方で起こった地震は「海溝型地震」で、北但大震災は「直下型内陸地震」です。

なお、断層の動きは全て解明されているわけではなく、どこにあるかも全て分かっているわけではありません。また、それが動くかどうかの予測は、今の科学水準ではほぼ不可能な状況です。

地震から身を守るには

普段からの備え

- ・家の耐震補強
- ・家具の転倒防止
- ・非常持ち出し品の準備
- ・家族の安否確認方法などを決めておく など



大きな揺れを感じたら

・まず身の安全、しばらく様子を見る

・揺れが1分以上続いたら、津波が来るかも知れないので、海の近くにいる方は早く高台に避難する



揺れが収まったら

・余裕があれば火の元確認：最近の器具は自動消火する物がほとんど

・慌てた行動はけがのもと

・窓や戸を開け、出口の確保

・慌てて外に飛び出さない：落下物などがあることも

・門や扉などには近寄らない

避難するときは

・正しい情報で確かな行動を

：テレビ、ラジオ、市の防災行政無線などから情報収集を

・避難所に向かう前に自宅のブレーカーを落とし、ガスの元栓を締める

・避難先などのメモを玄関に

・家族の安全確認後に、隣近所の安否確認を

協力し合って、救出・救護

・自主防災組織、隣近所などで協力し合って救出・救護を